

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
記録や自己の課題に気づく取組 ～学習カードの活用～	高	体育 (Ⅱグループ)	

<ねらい>

- ・記録計測や自分のフォーム確認から自己の課題に気づけるようになる。
- ・自己の課題に気づき、目標達成や意欲的に取り組めるようになる
- ・生徒自身と担任、体育担当者とは共通の課題に気づけるようになる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

(体カテストカード)

- ・A4印刷⇒ラミネート
- ・油性マジックで記入

(短距離走・リレーカード)

- ・A4印刷
- ・個々にバインダーを用意し、筆記用具1本とセットで毎時間授業に持ってくるように習慣化した。

<新体カテスト記録表>

<短距離走・リレー学習カード>

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・スポーツテストは、毎年春の時期に行う活動である。油性マジックで記入してもアルコールで消すことで、毎年繰り返し使うことができる。
- ・短距離走・リレーカードは、タブレットPCでの動画記録の感想やタイム計測を毎時記録することで、生徒本人が時系列で自分の姿を確認することができた。
- ・年間で2回シートを使った学習を行ったので、記入し提出することが定着した。
- ・授業に必ず持ってきて、生徒が授業中や昼休みの時間に記入し、各担任に確認してもらってから体育担当者へ提出することを徹底したため、担任が授業内容の確認をしたり、アドバイスしたりするツールともなった。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・A4印刷、ラミネートシート